

車いす、あります

郷土博物館はバリアフリーです。

「バリアフリー」という言葉をご存じですか？
障害を持つ人が行動する際に障壁となる要素（バリア）を取り去った（フリー）、障害者に優しい空間のあり方のことです。

今年の春、獅子ヶ森の旧県立大館東高校校舎を改装してオープンした大館郷土博物館は、計画段階からこのバリアフリーの概念を意識した造りになっています。正面玄関や展示館の階段にスロープを併設してあるのもその一つ。車いすのかたにも不自由なく施設をご利用いただけるようになっています。また、館内には車いすそのものも備えられていますから、車いすをお持ちでないかたでも安心です。より多くのかたに、大館の歴史・文化を見て、触れて、親しんでいただきたいと思います。どうぞお気軽にお出かけください。



国土利用計画法による平成8年度分（平成8年7月1日現在）の地価調査基準地の標準価格が公表されました。市では市内13カ所の基準地地価などを掲載した図書を閲覧していますので、土地取引の参考にしてください。

土地取引の参考に 基準地価を公表

土地価格
(1平方メートル当たり)

●住宅地	中道1丁目5-22	4万2、200円	6万円
●字三の丸32		2万8、000円	
●城西町7-3		2万8、000円	
●有浦4丁目1-34		3万1、500円	4万円
●柄沢字狐台2-75		2万2、000円	
●東台6丁目5-56		3万1、500円	
●字八幡沢岱37-3		2万8、000円	
●宅地見込み地			
●字大田面29-2		1万5、000円	10万円
●商業地			
●常盤木町3-14			

5,000平方メートル以上の土地取引の際には、都市計画区域内で五千平方メートル以上、それ以外の区域で一万平方メートル以上の土地を売買しようとするときは、事前に県知事へ届け出て利用目的や予定価格などの審査を受けなければなりません。

●御成町2丁目9-3	12万1、000円
●餌釣字大杉165-2外	2万8、000円
●準工業地	
●根下戸新町19-74	6万5、000円
●工業地	
●花岡町字前田40-21外	5、000円
●閲覧場所・都市開発課、各出張所	
●市役所都市開発課	49-3111(内線363)

市長リポート

No. 123



雇用創出の決め手となるか
県営大館第二工業団地

秋田県営大館第二工業団地は、秋田県新総合発展計画前期五年計画に基づく新規工業団地整備構想の一つとして、県が大館市二井田地区に計画したものです。その目的は、地域活性化や雇用の場の確保はもちろんのことですが、来るべき大館能代空港の開港の際には臨空型工業団地としての機能を担うことになるものでもあるため、非常に大きな意義を持つ計画であるといえます。

同地区には既存団地として、県営大館工業団地（二十六畧）と市営二井田工業団地（十七畧）がありますから、さらにこの工業団地（四十八畧）が完成すると、総面積九十一畧の県内最大級の工業団地が出現することになります。

雇用の場の確保という意味では、とにかく大きな効果が期待できる事業です。しかし、工業団地を造成しさえすれば所期の目的が達成できる、というものではありません。このチャンスを最大限に活かすためには、まず、企業に進出していただくことが必要條件になります。これだけ広大な面積を持つことになる工業団地ですから、より多くの企業に進出していただきたいものです。

そこで浮上してくるのが、誘致する業種の問題です。既存の工業団地のうち、市営二井田工業団地には製造業と流通・販売業が進出していますが、県営大館工業団地では製造業のみとなっています。企業進出の可能性を高めることが第一の目的なのです。県営大館第二工業団地の分譲にあたっては、製造業のみにこだわることなく、業種の拡大を図ることも有効なのではないでしょうか。いずれ、雇用創出は急務とされている事業の一つですから、全力を傾けて頑張っていきたいと考えています。

小畑 元